

情報学部

Faculty of Informatics
YAMATO UNIVERSITY 2027

情報学科

情報システム科学コース

ネットワーク・セキュリティコース

メディア情報コース

AI・データサイエンスコース

情報経済経営コース



主要駅から大学までの所要時間

JR大阪	約 9 分	JR 吹田	約 7 分	大和大学
JR京都	約 33 分			
JR三ノ宮	約 33 分			
阪急大阪梅田	約 15 分	阪急吹田	約 10 分	

「通いやすさは、学びやすさ」
JR大阪駅から9分、吹田駅すぐ



情報学部

〒564-0082 大阪府吹田市片山町 2-5-1

TEL : 06-6385-8010

入試情報サイト <https://www.yamato-u.ac.jp/entrance/>

情報学部サイト <https://www.yamato-u.ac.jp/special/informatics/>

大和大学

実践型の学びで、デジタル社会の一步先へ

Faculty of Informatics

情報学部

AIの進化により劇的に変化を続ける現代社会。

あらゆる分野でIT人材が不足しています。

情報学部では、実社会でのさまざまな問題を乗り越える

幅広い知識と視野を持つ、

デジタル社会が求める人材を育成します。

情報学部
Webサイトは
こちら



定員

250名

理系の方も文系の方も
受験可能です

1.5つのコースを開設

NEW

2027年
新設！

デジタル社会の一步先へ、
新たに5コースが始動！

情報
学科

コースは
2年次に選択

情報システム科学コース	P.04
ネットワーク・セキュリティコース	P.05
メディア情報コース	P.06
AI・データサイエンスコース	P.07
情報経済経営コース	P.08

2. 進路目標

学生が希望する進路の実現に向けて
全力で支援

情報学部では学生の卒業後の進路目標を以下の通り掲げています。
教職員が一体となって希望進路の実現を支援します。

情報学部の進路目標

情報学部は
2027年3月に第1期生が卒業予定

難関国公立大学
大学院進学

学部全体の

60%以上

東証プライム上場企業、
有名企業400社、
従業員5,000人以上の大企業へ就職

就職希望者の

60%以上

有名企業400社とは…日経平均株価や会社規模、知名度、大学生の人気企業ランキングなどを参考に
株式会社大学通信が選出した企業です。

学びの特長

あらゆる業界で
活躍できる実力を身につけます。

劇的に進化を続けるデジタル社会の第一線で
活躍できる人材を育成するため、
高度な専門知識と実践的なスキルを身につけることができる
多彩な教育プログラムを展開しています。
日本を代表する企業や
世界で活躍する起業家との連携などを通じて
最新の技術動向や現場のニーズに触れながら
学びを深めることができます。
理論と実践をバランスよく学ぶことで、
新たな価値を創造できる高度専門人材を育成します。

特長 1

デジタル社会の一步先に行く 5つのコースを新たに開設

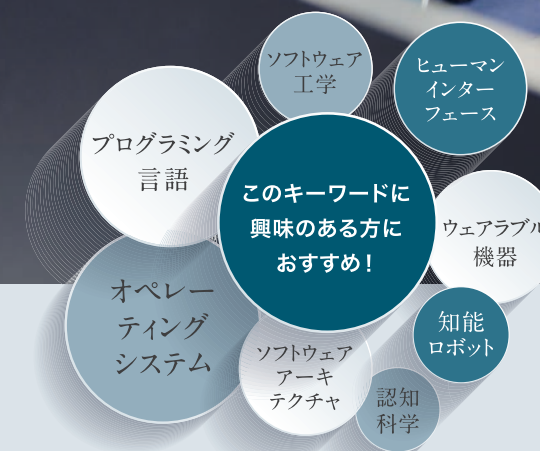
ますます進化する高度デジタル社会の最前線で活躍する人材を育てるため、2027年に5つのコースを開設します。1年次にはプログラミングをはじめとする情報学の基礎的知識・スキルの土台を身につけ、2年次から希望するコースに分かれて専門性を磨きます。

※原則として希望するコースに進むことができます。
また、3年次にコースを再選択することも可能で、
自らの興味・関心の変化に応じてフレキシブルに学ぶことができます。

Information Systems Science

情報システム科学コース NEW

情報技術の「仕組み」を論理的に理解し、
実世界で動く情報システムを設計・実装・評価する力を養います。



Interview



情報システム科学コースは、最先端のIT技術と社会のニーズを結びつけ、未来のDX（デジタルトランスフォーメーション）を牽引する人材を育成する場所です。カリキュラムはプログラミングやデータサイエンス、AI（人工知能）、ネットワークセキュリティといった実践的な情報技術の修得が中心。さらに、最先端の理論を学ぶだけでなく、企業や地域社会と連携したPBL（課題解決型学習）を通じて、実社会のシステム構築に対応できる応用力を身に付けます。文理の枠を超えた柔軟な発想力と、高度な実装力を兼ね備え、次世代の社会基盤を創り出すITスペシャリストをめざせるコースです。

Career Paths 将来の進路

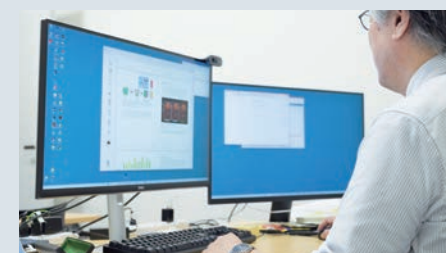
■ システムエンジニア ■ ソフトウェアエンジニア ■ クラウドエンジニア ■ アプリ開発者 ■ IT・通信業界 ■ メーカー など

最先端ITを学び

社会を変えるITスペシャリストへ

池田 孝利 教授

ソフトコンピューティング研究室



シミュレーション、AI、世界モデルなどを中心に、社会や環境の仕組みを分析します。研究室では、計算リソースや情報インフラを支える技術を基礎として、人の行動や判断の再現、AIを安心して使う方法を研究しています。



ネットワーク・セキュリティコース NEW

インターネットを支える仕組みを理論と実装の両面から学び、安心・安全なシステムの構築力を身につけます。

最先端のセキュリティ技術を学び
社会の安全を支える

井上 茂雄 教授



Career Paths 将来の進路

■ ネットワークエンジニア ■ セキュリティエンジニア ■ ホワイトハッカー ■ IT・通信業界 ■ 社会インフラ業界 ■ 公務員 など

ネットワークセキュリティコースでは、現代のデジタル社会を支える安全で強固なインフラを構築・維持するエキスパートを育成します。講義では、ハッキングへの防御策や暗号技術、不正アクセス検知などの最先端セキュリティ技術を基礎から網羅。トラブルに即応できるリアルな課題解決力を養います。ネットワークの構築からリスクマネジメントまでを体系的に学び、高度IT人材として社会の安全を守る未来のセキュリティエンジニアをめざせるコースです。

数理論理学研究室



最近の研究としては、「生物の免疫システムを模したセキュリティシステムの可能性の模索」「アジャイル開発環境での柔軟なセキュリティ構築の模索」「数学のtorsorという概念を用いたプロトコルの理論的研究」に注力しています。



メディア情報コース NEW

CG、VR、AR、3Dコンテンツ、映像、画像、音などの情報処理技術を磨き、表現する力を身につけます。

Interview



メディア情報コースでは、映像・デザイン・Web・SNS運用・AI活用など、現代社会に欠かせない情報発信技術を幅広く学びます。企画力や表現力に加え、データ分析やデジタルマーケティングの知識も身につけ、実践的なプロジェクトを通して社会で通用するスキルを養成します。クリエイティブとテクノロジーを融合させ、多様なメディアを活用できる人材を育成することをめざしています。

Career Paths 将来の進路

■ Webエンジニア ■ エンターテインメント業界 ■ 広告業界 ■ IT・通信業界 ■ マスコミ業界 ■ メーカー など

メディアとテクノロジーを融合し
発信力を磨く

小方 孝 教授

認知科学研究室



人間の創造性と物語や言語の構造や修辞を計算的に探究し、文学理論と先端AI技術を融合させた独自のアプローチで、多層的かつ新しい物語生成の可能性を開拓し、歌舞伎等伝統的物語の伝承と発展・ASD支援・社会のナラティブ解析などに応用しています。さらに、創作と研究を往還する実践的な取り組みにより、次世代の人文科学と情報科学を架橋しようとしています。

AI and Data Science



AI・データサイエンスコース NEW

大量かつ複雑に蓄積されたデータを論理的に解析し、新しい価値を発見・創出する力を養います。

AIとデータ分析を武器に 社会課題を解決する

名倉 賢 教授



Career Paths 将来の進路

■ データサイエンティスト ■ データアナリスト ■ AIエンジニア ■ IT・通信業界 ■ メーカー ■ 広告業界 ■ 流通業界 など

Information Economic and Management



情報経済経営コース NEW

社会や経済の動きをデータで読み解き、企業戦略や公共政策などに役立てる力を育てます。

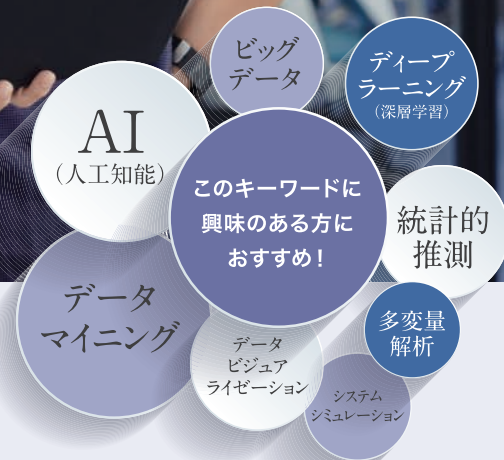
Interview



情報経済経営コースは、現代のビジネスシーンで不可欠な「DX（デジタルトランスフォーメーション）」を牽引する人材を育てる学びの場です。最先端のITスキルとデータサイエンス、そして確かな経済・経営の知識をクロスオーバーで修得。ビッグデータの分析力やAIの活用法を学びながら、企業経営や市場の仕組みを深く理解し、新たな価値を創造するビジネスデザイン力を養います。理論にとどまらず、実践的なPBL（課題解決型学習）を通じて社会の即戦力へ。文理の枠を超えたアプローチで、激変する情報社会の未来を生き抜く次世代のリーダーをめざせます。

Career Paths 将来の進路

■ マーケッター ■ 経営コンサルタント ■ 起業家 ■ IT・通信業界 ■ 金融業界 ■ 観光業界 ■ 社会インフラ業界 ■ 公務員 など



AI・データサイエンスコースでは、統計学やプログラミング、AI技術を基礎から学び、大量のデータを分析して新たな価値を創出する力を養います。文理融合型のカリキュラムを採用し、経済・経営・社会分野とも連携しながら、実社会の課題解決に挑戦できる点が特徴です。最新設備を備えた学習環境や実践的な演習を通して、データ分析力や論理的思考力を高め、IT・金融・製造・行政など幅広い分野で活躍できる人材を育成します。資格取得支援や企業連携も充実しており、次世代のデジタル社会を支える即戦力をめざします。



数理モデリング研究室

理論物理の発想と実務経験を活かし、現実世界をデータ空間に写し取り、数理モデルで読み解くことが私の研究テーマです。データサイエンスの視点から、EBPMやIoTなど社会課題の解決につながる価値を生み出すことをめざしています。

ITと経営を横断し DX時代を切り拓く人材へ

田村 直樹 教授



マーケティング研究室

研究テーマは、消費者の心を動かす広告や動画です。消費者の心が動くからこそビッグビジネスが生まれます。ゼミでは学生とともに、映画やミュージックビデオなども制作しています。価値を生み出すきっかけが、動画であると位置づけています。

すべての学生が「基本情報技術者」などの社会で役立つ資格を取得 無料講座など資格取得支援制度が充実

実社会で役に立ち、社会的評価が高い国家資格「基本情報技術者」を全員が取得できるよう学ぶほか、AI・データサイエンスやネットワーク構築、セキュリティに関する高度な資格取得もサポートします。資格取得に関する講座は無料で受講できるほか、資格取得試験の受験料補助制度や奨励金制度も充実しています。また、所定の単位を修得することで高等学校教諭一種免許状（情報）も取得可能です。

対象	資格	支援制度
全員が取得をめざす資格	■ 基本情報技術者	無料講座開講 受験料補助
希望者が取得をめざす資格	■ 応用情報技術者 ■ 統計検定（2級・準1級・1級） ■ 情報処理安全確保支援士 ■ ネットワークスペシャリスト ■ CCNA Cyber Ops ■ AWS Certified Cloud Practitioner ほか	無料講座開講 資格取得奨励金※

※資格試験に合格することで奨励金が支給されます。

世界で活躍する起業家による特別講座でアントレプレナーシップ（起業家精神）を学ぶ

アントレプレナーシップ（起業家精神）とは単に起業家になるために培う精神ではありません。これからの時代、企業へ就職しても、研究者や公務員になっても、あらゆる職業で経営的な視点や考え方が求められます。情報学部では新しい変革を起こそうとする若手起業家によるベンチャー講座やPBL型特別講義を通じて、経営者的な視点で考え、課題解決していく実践的な力を育てます。

グループ校西大和学園卒業生の起業家が特任教授に就任

京都大学客員教授
企業や自治体のテクノロジーの社会実装についてのアドバイザーも務める。著書多数



ベンチャー投資家
山本 康正 さん

アシックス、テレビ朝日など大手企業のアプリ・タブレットアプリを数多く開発。日本と現在ヨーロッパにも拠点を置く。プログラミング教育にも注力。アシアル情報教育研究所を設立



アシアル株式会社
代表取締役社長
田中 正裕 さん

大手企業のAI、IoTを中心とした新規技術開発・事業開発を支援。AI・データサイエンス関連の著作を多数執筆。



AI・脳科学研究者
株式会社オングガンツ
代表取締役
松田 雄馬 さん

日本を代表する企業との連携による実学イノベーション講座でIT分野の最新動向を学ぶ

経済界と強い絆を有する本学の強みを活かし、日本を代表する企業の第一線で活躍する方々による実学イノベーション講座を実施。IT技術が私たちの暮らしをどのように支えているのか、高度情報化社会から求められる人材はどのような人材か、劇的な技術進歩が未来をどのように変えていくのかなどを、リアルな声を通じて学びます。

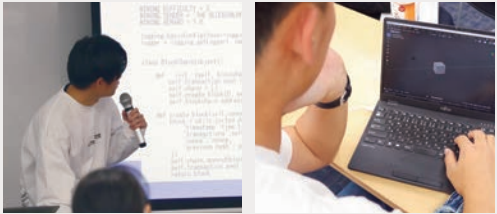
Rakuten | Sky | 大阪ガス | 株式会社サイバーエージェント | SoftBank | NTT西日本 | 読売新聞大阪本社 | 株式会社毎日放送

さらに、アメリカ・シリコンバレーのグローバルIT企業群GAFAMで活躍する日本人エンジニアや世界的ゲームメーカーの技術者による講座も予定！

※講座実施企業は予定であり変更となる場合があります。

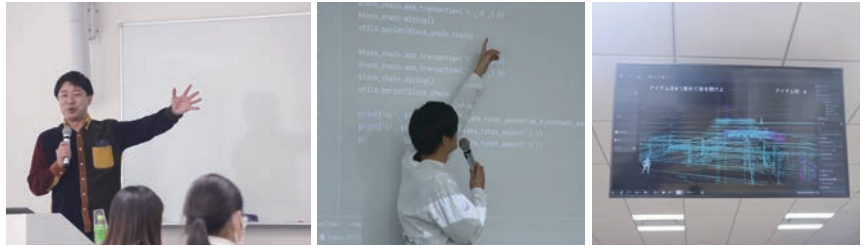
AI・脳科学研究で著名な松田雄馬特任教授による「AI・メタバースラボ」を学内に開設

次世代の技術領域であるAIとメタバース技術を融合させた先進的なテーマに取り組む、実践型の教育プログラムです。学生たちは1年間を通じて、企画・立案から実際の開発、そして発表に至るまでのプロジェクト型学習を進めて、実践力を磨いていきます。



2025年度のプロジェクト実績 ※一部抜粋

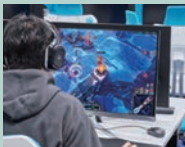
- VRで空き家をつくる
- 授業動画を共有する新しいスマホアプリ開発
- VRで地形をつくる
- 強化学習・深層強化学習への挑戦
- 数学やプログラミングなど個人の学びを共有する仕組みづくり など



チャレンジプロジェクト ※一部抜粋

学生が主体となってさまざまなプロジェクトに挑戦することができます。企画・運営もすべて学生自身が行い、アイデアを形にしていきます。

eスポーツプロジェクト



学生自らVALORANT大会を開催し、参加者がチーム戦を通じて競技力や協調性を高め、学部内交流を深める機会となりました。

AIコンテストプロジェクト

AI for Science などをはじめとした「失敗するかもしれないが、成功したら面白いアイデア」を育みつつ、学生だからと躊躇せず、自身の卒業研究やオリジナルのアイデアをプーストさせるチャンスとして挑戦しています。



VRプロジェクト



VRチームは、ある学生と教員の「今やりたいこと」が重なった、偶然からスタート。一人の学生の好奇心が仲間との出会いを生み、学びを広げています。偶然が未来を変える醍醐味を実感する、創発の学びの場です。

メタバースプロジェクト

教科書があるわけでも、教材があるわけでもありません。自分のやりたいことに共感した仲間を集め、自ら情報を集めながら世にないものを作っていく取り組みです。



Interview



学生主体で挑戦を広げる120人規模のVRプロジェクトチーム

VRプロジェクト 松井 大和 さん
情報学科 3年 滋賀県立安曇川高等学校出身

チームでは、オープンキャンパスや学園祭に向けてのVRコンテンツ制作や3Dゲームの開発、広報誌の作成、プログラミング講習会や高校での特別授業など、多様な活動を行なっています。当初20人ほどだったメンバーは現在120人を超え、部門班を複数立ち上げるなど、これまでとは違う取り組みにも挑戦しています。学部からは、専用PCの支給や活動場所の確保など多くの支援をいただいています。学部直下の組織でありながら、学生主体で活動できる環境も大きな支えとなっています。

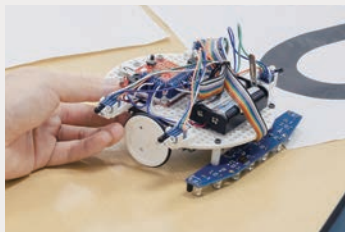
Pick Up

ピックアップ授業

01. 基礎演習

マイクロマウスの 制御実験

情報学部ではソフトウェア関連の授業だけでなくハードウェアに触れる機会も設けています。この授業は、マイクロマウスを用いてプログラミングを行う実習授業です。実機ロボットのセンサやモータなどの基本機能を理解しながら、ビジュアルプログラミングにより複雑なロボット動作を実現します。また数名の班単位で役割分担をしながら個別プログラムを開発し、最後にメンバー全員が協力して課題を実現するグループワークを行っています。



Interview

日本の食料自給率の改善に貢献したい

倉田 蒼生 さん

情報学科 3年 西和学園高等学校出身

情報分野はこれからますます重要となり、学んだことをどんな分野にも活かすことができる点と、最先端の設備が整っていることに魅力を感じ大和大学に進学を決めました。「基礎演習」の講義では、さまざまな先生方の研究分野を幅広く学び、グループワークを通じて意見を交換しながら、自分の学びたい分野を見つけるきっかけになりました。また、「興味が湧いたことは全部やる」をモットーにプログラミングチームの運営をするなど、新たなことにチャレンジしました。将来は、未来予測技術に応用した機械農業の自動化を実現させ、日本の食料自給率の改善に貢献したいです。大学院に進学し、この分野の最先端といえるオランダへ留学に行き、そのノウハウを学びたいです。



02. AI基礎

AIの基礎

— 脳の構造と機能 —

脳は神経細胞の複雑なネットワークにより情報を処理し、知覚・記憶・意思決定などの高次機能を実現するだけでなく、情動やエピソード記憶を処理し、さらに身体調節などにより生存を維持します。本授業では最新の神経科学とAIの知見を統合し、脳の構造と機能の理解を深めながら、人間知能の原理とその応用可能性を体系的に学びます。



Interview

在学生インタビュー

01

浅井 真奈 さん

情報学科 4年 比叡山高等学校出身

コロナ禍の 経験から見つけた ITの可能性



高校生の時、コロナ禍で突然学校に通えなくなりました。しかし、学校がタブレットを活用したオンライン授業へ迅速に切り替えてくれたことで、学習の遅れを出すことなく高校生活を送ることができました。この経験を通してIT分野の将来性を実感し、情報学部への進学を決めました。特に印象に残っている授業は、「畳み込みニューラルネットワーク(CNN)」です。AIがどのように画像を認識し、特徴を捉えて学習していくのかという仕組みを学び、ブラックボックスのように感じていたAI技術への理解を深めることができました。情報学部では、日々進化する最先端の技術や知識に触れながら学ぶことができます。実際に就職活動を通して、多くの業界でIT化やDXが進んでおり、情報学の知識は幅広い分野で活かされると実感しています。将来は、IT技術を活用し、小さな業務改善から組織改革まで幅広く貢献していきたいです。

02

伊澤 彩季 さん

情報学科 4年 大阪府立河南高等学校出身

文系でも情報分野を学ぶことに魅力を感じ、大和大学の情報学部を選びました。社会の変化を見て、今後ますます必要とされる分野だと感じたからです。1～3年生では、情報分野に必要な数学やプログラミングを中心に学びました。もともと文系出身だったため苦労もありましたが、継続して学ぶ力や考える力が身についたと実感しています。また、情報学部では、映像や広告、デザインなどについても学ぶことができます。現在は広告・映像系のゼミに所属し、AIを活用した動画制作について研究しています。幅広い分野に触れたことで、自分がやりたいことを見つけることができました。将来は、人の印象に残るコンテンツを生み出せるクリエイターになりたいと考えています。技術だけでなく、発想力やコミュニケーション力も磨き、時代の変化に柔軟に対応しながら新しいことに挑戦し続けられる社会人をめざしています。

文系からの挑戦

AI時代の

映像クリエイターに



03

小石 翔大 さん

情報学科 4年 大阪府立山田高等学校出身

ITと経営を学び 社会課題の解決に挑む 次世代人材へ



AI化が進む社会の中で、AIに仕事を奪われるのではなく、AIを活用する側の人材になりたいと考え、進路を決めました。開設されたばかりの学部で、新しいことに挑戦できる環境も魅力でした。授業では、プログラミングやデータ分析を中心に学んでいます。オセロやRPGなどの簡単なゲーム制作にも取り組んでおり、自分が書いたコードが実際に動きとして形になることに面白さを感じています。また、情報学部では、経営学や経済学、マネジメントなど幅広い分野について学ぶことができます。IT技術が社会や経済の場面でどのように活用されているのかを、多角的な視点から学べることも強みの一つです。今後は、英語などの語学力の向上や資格取得にも挑戦したいと考えています。社会に出れば、さまざまな業界や立場の方と仕事することになります。専門分野だけにとどまらず視野を広げ、相手に寄り添った提案や開発ができるIT人材へ成長していきたいです。

大和大学だからできる！ きめ細やかな学生支援

情報学部は
2027年3月に
第1期生が
卒業予定！

01 | 大和大学独自の教育体制

学びから進路まで、一人ひとりを支える体制

ダブル担任制の充実サポート

一人ひとりを支える「ダブル担任制」で、きめ細やかな支援

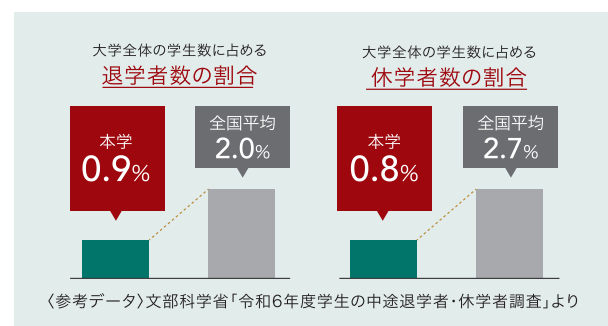
情報学部では、日々の学修指導や学生生活支援を行う「クラス担任」と、就職や大学院進学の見路支援を行う「進路担任」の2人の担任教員が学生一人ひとりを全力でサポートする「ダブル担任制」を導入しています。手厚いサポートの結果により、退学率・休学率は、全国平均を大きく下回ります。



教育・研究それぞれのプロによる指導体制

情報学部では、「教育」と「研究」 それぞれの専門家が学生を支援します

情報学部の教授陣は、「教育」の専門家2割、「研究」の専門家8割で構成。学生一人ひとりに寄り添うことが得意な教育の専門家は、主に学部マネジメントをはじめ、学生の進路に関するさまざまな相談などを担います。研究の専門家は、主に高度専門分野の研究や研究指導を担います。それぞれの専門性を活かし、全力で支援する体制は、全国唯一です。



02 | 大和大学独自の大学院進学支援

国公立大学大学院をめざす実践型サポート

万全の英語教育

進学校「西大和学園」のノウハウで TOEIC600点以上をめざす学修サポート

国公立大学大学院入試の要は「英語」です。「英語」はTOEIC L&Rスコア600点以上が合格の目安となります。情報学部には全国屈指の進学校「西大和学園」出身の「教育」のプロが在籍しています。西大和学園で培った教育力を発揮し、スコアアップを図ります。



大学院の研究をひと足早く体験

大学院進学希望者を対象に、 国公立大学大学院でインターンシップ！

情報学部の大学院進学希望者は、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学など国内有数の研究力を誇る大学院でインターンシップを実施。大学院生と一緒に実際の研究活動を行うことで学びへのモチベーションを高めます。また、大学院進学へ向けて全国の主要国公立大学大学院の説明会も本学内で実施しています。



03 | 大和大学の就職支援

圧倒的な大企業・有名企業への就職率を実現！

学生に伴走する就職支援体制

全学生の就職状況を把握！ 一人ひとりに最適な支援

キャリアセンター職員と進路担任教員が一体となって支援を行う本学。「キャリアセンター・担任会議」を定期的に実施し、学生一人ひとりの就職状況を完全に把握。それぞれに応じた最適なサポートを行っています。



学生一人ひとりの進路状況を確認する「キャリアセンター・担任会議」

学生と企業をつなぐ機会を創出

大企業・有名企業と直接つながる、 圧倒的な就職支援環境

キャンパス内の「大和アリーナ」では、日本を代表する大企業・有名企業の採用担当者が集結する「合同企業説明会」や「模擬面接会」を頻繁に開催。学内にいながら数百社の企業と直接出会い、実践的な選考対策まで行える環境は、本学ならではの大きな強みです。学生と企業をつなぐ豊富な機会が、高い就職実績へとつながっています。



本学大和アリーナで開催した合同企業説明会の様子

内定者インタビュー

Interview



大学での学びと
挑戦を糧に
信頼されるエンジニアへ

株式会社インターネットイニシアティブ 内定

中村 蒼良 さん

情報学科 大阪府立桜塚高等学校出身

サークル活動を通して、サーバーやネットワークに関する学習・開発に取り組んできた経験から、ITインフラ業界をめざして就活を進めました。キャリアセンター職員の方による模擬面接や面接対策は、とても役立ちました。対策のおかげで自分の考えを整理し、落ち着いて話す準備ができました。また、学部の先生方にもエントリーシートの添削や、自分の強みの伝え方についてアドバイスをいただき、選考に臨む上で大きな支えになりました。今後は、技術面だけでなくマネジメント面や人との関わり方においても信頼されるエンジニアをめざしてまいります。

就職・キャリアについて
詳しくはホームページで
紹介しています



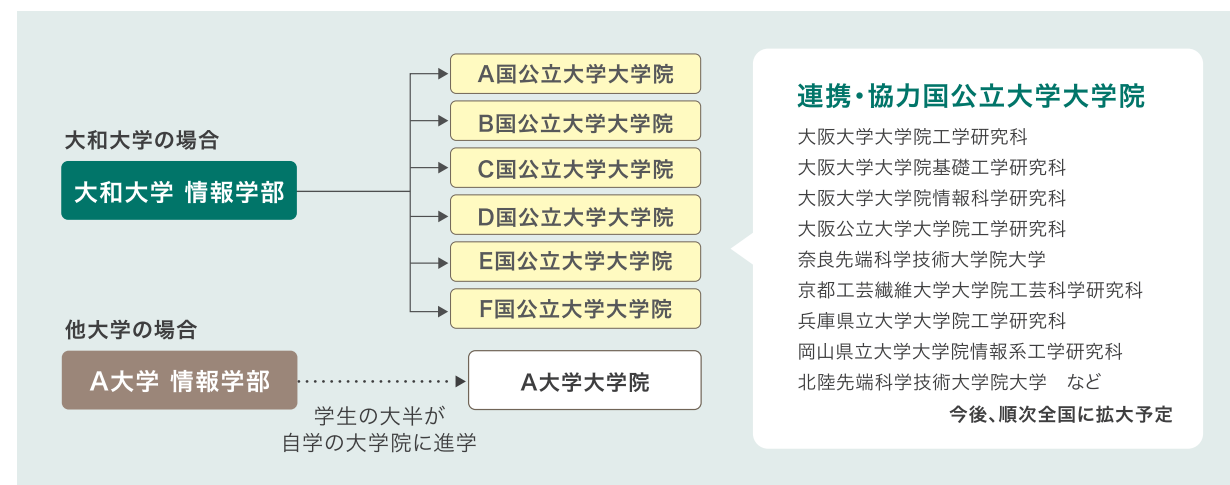
Graduate School 大学院

大和大学の大学院は

全国の難関国公立大学大学院

全国で大和大学だけ！

日本の大学院進学は、学部の上に設置された自学の大学院に大半がそのまま進学するケースが一般的で、産業界から、このいわゆる「エスカレーター式進学」が、大学院進学への学生の勉強意欲の低下や、幅広い専門分野への関心の希薄化を招き、結果として日本の科学技術の発展の遅れにつながっているとの指摘がありました。このような課題に応えるため、本学では積極的に大学院を持たず、多くの難関国公立大学大学院と連携・協力関係を構築しています。国公立大学大学院との連携・協力を通じて、研究への高い意欲を育み、多様な専門分野への関心・理解を深めることができます。そして、進学先となる大学院の選択肢が格段に広がります。すべての難関国公立大学大学院が大和大学の大学院になります。



01 | 多様性が新たな価値を生む

学部の上にある大学院にそのまま進学する「エスカレーター式進学」では、同じ考え方や価値観を持つ同質的な集団が、学部で学んだことと同じ専門分野をそのまま大学院で学ぶことになりがちです。イノベーションは多様性の中から生まれます。国公立大学大学院へ進学し、異なるバックグラウンドや多彩なアイデアを持つ学生と切磋琢磨し合うことで、新たなイノベーションを創造することができます。

02 | 有名企業の技術・開発・研究者の多くが難関国公立大学大学院修了者から採用

多くの有名企業に、「どの大学からの採用者が多いか？」お尋ねした際、技術者・開発者・研究者のほとんどが国公立大学大学院修了者から採用されている実状があることがわかりました。このような背景からも、本学の難関国公立大学大学院進学支援が、学生の将来の活躍の場を大きく広げ、人生を豊かにすると考えています。

03 | 日本版「オーリン工科大学」をめざして

アメリカ・ボストン郊外にある全米トップクラスの大学「オーリン工科大学」は専門領域を超えたフレキシブルなカリキュラム編成や、企業と連携した実学教育を展開しています。あえて大学院を持たず4年間は基礎教育を徹底し、MITやハーバード大などの名門大学の大学院への進学を支援するなど、本学情報学部のビジョンと重なる教育を実践しています。本学情報学部は日本版オーリン工科大学をめざします。

Facilities and Equipment

施設・設備

新たな発想やイノベーションを起こせる

最高の環境が整っています



データサイエンスステーション

最新鋭の設備を使って、仲間や先生、企業を

巻き込んで研究やプロジェクトに挑戦します

ビッグデータ、グラフィック、eスポーツにも対応できるハイスpekコンピュータを完備。情報学部の最新鋭のものづくり拠点です。ゲーム制作、アプリ開発、eスポーツなど、探求できるテーマは多彩。



イノベーションガレージ

まずは、夢やアイデアを熱く語り合おう

壁一面のホワイトボードを囲み、自由な発想で、やりたいことや夢について、仲間や教員、地域、企業の実務家と熱く語り合える場所。イノベーションガレージは、本学がめざすベンチャー精神を備えた人材育成のシンボル。

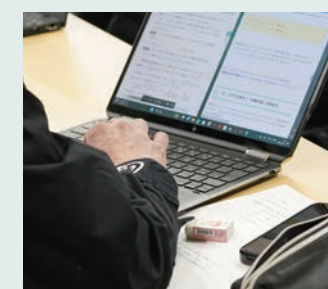


BYOD (Bring Your Own Device)

オープンな空間で新たな発想を育み

学びの可能性を広げる

自由にPCを持ち歩き、「いつでも、どこでも」学べ、自由にアイデアを持ち寄れる場を提供。教員スペースも設置し、新たなイノベーションを学生とともに作ります。教員や仲間とのコミュニケーションも活発に！



Study Abroad

留学プログラム

1年間留学しても4年で卒業できる

留学制度を導入！

世界中に留学提携校をますます拡大中

留学について
詳しくはホームページで
紹介しています



海外での学びをよりいっそう応援するため

長期留学、短期留学ともに留学先で取得した単位を

本学の単位として認定。語学学校への留学も単位認定が可能



サザン・クロス大学
(オーストラリア)



カンタベリー大学
(ニュージーランド)



ドゥルュー大学
(アメリカ)

留学
提携校

201校

(2026年3月現在)

留学支援奨学金を給付

4年での卒業が可能※

※「留学計画書」を大学に提出し、認定を受ける必要があります。

留 学 時 期	在学期間中
期 間	1学期または1年・半年
学 費	本学・留学先双方で必要
留学支援奨学金	上限100万円(1年)・50万円(半年)
滞 在 費	自己負担
卒 業	留学中も在学期間とみなされ、 4年での卒業が可能
単 位 認 定	可

Other Schools

世界中に拡大中の留学提携校 ※一部抜粋

アメリカ	ハーバード大学、カリフォルニア大学、ワシントン大学、コロンビア大学、コーネル大学、デューク大学、ボストン大学、マイアミ大学、アリゾナ州立大学、サンフランシスコ州立大学、南カリフォルニア大学、コロラド州立大学、モンタナ大学、テネシー工科大学、ミシシッピ大学、ペンシルバニア州立大学、シャミナード大学ホノルル、ハワイ大学マノア など		
カナダ	トロント大学、プリティッシュコロンビア大学、マギル大学 など		
オーストラリア	クイーンズランド大学、ニューサウスウェールズ大学 など		
イギリス	オックスフォード大学、エクセター大学、キングス・カレッジ・ロンドン大学、スターリング大学、ノーサンブリア大学、ロンドン大学クイーンメアリー、イーストアングリア大学 など		
フランス	ストラスブール大学、ソルボンヌ クール・ド・シヴィライゼ・フランセーズ・ド・ラ・ソルボンヌ (CCFS) など		
スペイン	サラマンカ大学 など	イタリア	ミラノ サクロ・クオーレ・カトリック大学 など
アイルランド	アイルランド国立大学ダブリン校、ダブリンシティ大学 など	チェコ	ブラハ経済大学 など
オランダ	アムステルダム自由大学 など	マルタ	マルタ大学 など
韓国	ソウル大学、高麗大学、漢陽大学、慶熙大学、西江大学、東国大学、建国大学、中央大学、韓国外国語大学、釜慶大学、全南大学、ソウル女子大学、永進専門大学、釜山カトリック大学、釜山外国語大学、弘益大学、国民大学、崇実大学、誠信女子大学、大邱大学 など		
台湾	国立台湾師範大学、淡江大学、中国文化大学、東吳大学、輔仁大学、靜宜大学、逢甲大学 など		

本学は「一般財団法人JSAF(ジェイサフ) Global Academic Education」<https://japanstudyabroad.org/>、
「アメリカ留学.US」<https://www.america-ryugaku.us/>、「EF education first」<https://www.efjapan.co.jp/>、
「毎日エデュケーション(毎日留学ナビ)」<https://ryugaku.myedu.jp/>と提携しています。

※留学には英語力など一定の基準があります。※留学先の大学は、学年、英語力、費用、その他を個別相談のうえ決定します。※4年で卒業するには学部、学科、専攻によって一定の条件を満たす必要があります。※他に、在学期間中に休学(本学在籍料が半期につき10万円必要です)して留学する休学留学も可能です。ただし、留学中は休学になりますので、4年での卒業はできません。

Program

情報学部独自の海外研修プログラム

世界最先端を体感！「シリコンバレープログラム」

希望者は、アメリカ・シリコンバレーで海外研修に参加できます。Google本社や楽天USA本社を訪問し、最先端のIT技術や革新的なビジネスを体験。さらに、世界を相手にグローバルに働く人々との交流や、スタンフォード大学の学生との交流などを通じて刺激を受け、自らの視野を広げるとともに、将来を見つめる絶好の機会となります。

約14日間

カリフォルニア州

ロサンゼルス

サンフランシスコ

世界のIT産業を牽引するシリコンバレーを訪問。
現場で活躍する方々との交流を行うほか、
ホームステイを通じて本物の英語を身につけます。



その他の語学研修プログラム

韓国

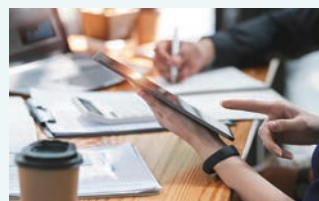
マルタ

フィリピン

ニュージーランド

オーストラリア

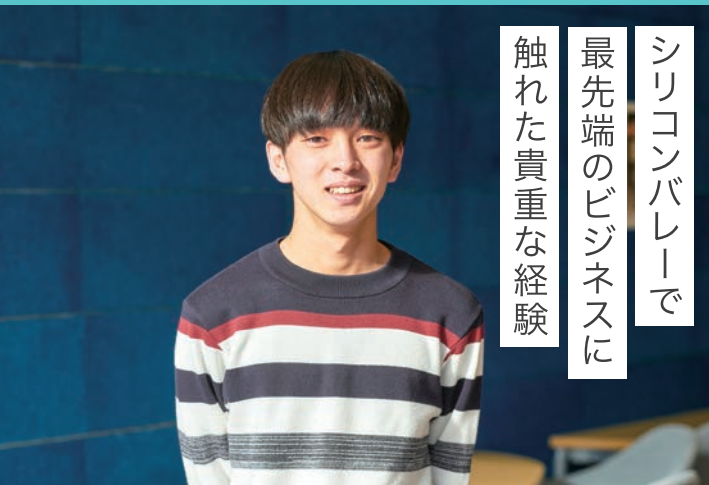
ベトナム・マレーシア



※上記研修プログラムは変更の可能性があります。※各プログラムの詳細については事前説明会や個人面談(カウンセリング)で説明します。
※各プログラムには定員、参加資格条件があります。※各プログラムの参加には別途費用がかかります。

Interview

留学経験者インタビュー



シリコンバレーで
最先端のビジネスに
触れた貴重な経験

01

桑山 征士 さん

情報学科 4年 兵庫県立三田祥雲館高等学校出身

情報学部の1期生として新しい歴史を築いていける点に惹かれ、大和大学への入学を決めました。シリコンバレー研修では、Google本社や楽天USA本社を訪問し、最先端のビジネスやグローバルな働き方に触れる貴重な経験をしました。アメリカで活躍する日本人の方々の生の声を聞き、実際のオフィスの雰囲気を感じること、自分の視野が大きく広がりました。この経験を通じて、将来のキャリアについて深く考えるきっかけとなりました。さらに、大和大学でプログラミング言語やコンピュータに関する幅広い知識を学ぶなかで、Web分野に強い興味を持つようになりました。実際にコードを書き、システムを構築する楽しさを知り、特にWeb開発に魅力を感じています。将来はWeb開発分野で活躍したいです。

02

岡山 侑加 さん

情報学科 4年 西大和学園高等学校出身

大学に入ったら絶対に留学をしようと考えていました。留学のために必要なTOEFL対策は、先生方の指導のおかげでぐんぐん力がついていくのが実感できました。留学先では主にコンピュータサイエンスを学びました。英語で専門的な内容を理解できるのか不安でしたが、私のような留学生へのサポートが充実していて問題なく学修することができました。日常生活では、アメリカと日本のちょっとした文化の違いは驚きの連続で良い経験になりました。認知科学やAIへの学びをさらに深めるため、卒業後は、国公立大学大学院への進学を考えています。ますます高度に情報化が進む社会の最前線で活躍できる人材になりたいです。



留学で広がった

経験と学びを

もっと深く追いかけてたい